

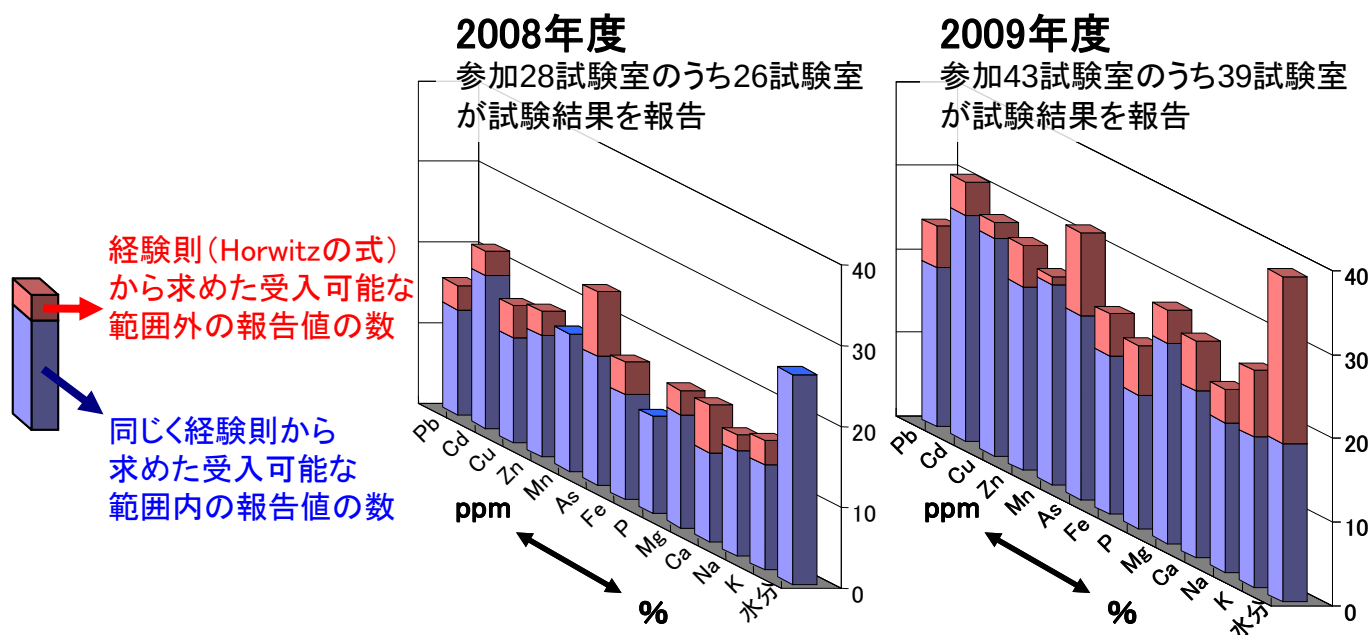
プロフィシエンシィテストイング(技能試験)の提供 —2008, 2009年度 ひじき粉末技能試験結果の概要—

技能試験について

- 技能試験では、実施者が均質な試料を参加試験室に配付します。参加試験室は任意の方法で分析後、実施者に分析値を提出すると、分析値の評価結果(かたより)を示した報告書が返送されます。
- 技能試験への参加により、分析技能を確認することができます。
- 試験所認定(ISO/IEC17025)や食品衛生法上の検査機関登録には、技能試験への参加が必須となっています。今後は一般の食品分析試験室にとっても、分析値の信頼性を外部に示すときに技能試験への参加が必要になってくると考えられます。
- 食品総合研究所 食品分析・標準化センターでは、2008年と2009年に「ひじき粉末中の総ヒ素及び必須無機元素等に関する技能試験」を提供しました。

ひじき粉末技能試験 As, Pb, Cd, Na, K, Mg, Ca, P, Fe, Zn, Cu, Mn

分析を行う成分の選択は任意で、参加試験室の任意の方法により分析
(併行して水分を105℃、5時間の常圧通風加熱乾燥法により測定)



微量かどうかにかかわらず、多くの成分で受け入れ可能な範囲をはずれる報告値があることから、分析方法を自己点検し、また分析値の信頼性を外部に示すために、技能試験への参加が望まれます。

今後の展開 2010年度は「精米粉末」技能試験を実施中(11/ 5試験結果報告〆切)

参考 2010年度「精米粉末」技能試験案内: http://www.nfri.affrc.go.jp/topics/2010/pt_ginoshiken1.html

謝辞 2008年度技能試験試料として、ひじき粉末 候補標準物質を提供していただきました
(独)産業技術総合研究所 計量標準総合センター(NMIJ)に厚く感謝いたします。